



## 飛驒の里紅葉ライトアップ

期間 10月22日(土)～11月13日(日)  
期間中の金土日祝  
時間 午後5時30分～9時

## 秋のイベント情報

**飛驒の里秋のイベント  
飛驒の里まつり(子供伝  
承芸能の発表会)**  
期日 10月29日(土)  
時間 午後1時30分～  
場所 立保神社

## 第4回新そばまつり

新そばの食べくらべや特産品の販売などを楽しんでいただけます。  
期日 10月29日(土)～30日(日)  
時間 午前10時～午後3時  
※場所はいずれも飛驒の里(上岡本町1)です。  
※ライトアップ時は駐車場を無料開放します。  
※市民の方は市内在住が確認できるものを提示すると入館無料です。

### 問合せ先

飛驒民俗村  
☎34-4711

### 徳川林政史研究所公開講座

#### 「再発見・飛驒の林政 ―山の恵みと高山の町―」

徳川林政史研究所が実施してきた調査結果をもとに、江戸時代の飛驒国の山林と高山の町や周辺村々との関係を史料をもとに解説します。  
期日 11月5日(土)  
時間 午後1時30分～5時  
場所 飛驒高山まちの博物館(上二之町)  
※事前申込不要です。直接ご来館ください。

### 原山市民公園

#### 市民ハイキング

10月の「都市緑化月間」に合わせハイキングを行います。  
期日 10月23日(日)  
時間 午前7時～11時  
場所 原山市民公園野外ステージで受付し、ため池または山頂へハイキング  
※事前申込不要、参加無料です。直接お越しください。  
※先着100名様に苗木と球根を差し上げます(雨天時、ハイキングは中止、午前7時～11時まで苗木と球根を配布)。

### 問合せ先

飛驒高山まちの博物館  
☎32-12005

### 問合せ先

(一財)高山市施設振興公社  
☎32-0406

## 第40回 市民健康マラソン

期日 11月23日(水祝)  
時間 午前8時20分受付開始  
場所 中山公園陸上競技場を発着点とした周辺道路



### 部門・距離

- ①小学生3・4年(男女2km)
- ②小学生5・6年(男女2km)
- ③中学生(男女3km)
- ④高校生(男5km、女3km)
- ⑤一般女子(2km)
- ⑥青年男子(5km)
- ⑦一般男子(3km)
- ⑧壮年男子(3km)
- ⑨実年男子(3km)
- ⑩男子フリー(年齢制限なし・5km)
- ⑪健康完走マラソン(2km)
- ⑫車いすレース(800m・400m〈レバー式〉)

### 参加料

- 一般:2,000円 ■高校生:1,500円 ■小・中学生:1,000円
- 健康完走マラソン、車椅子レース:500円 ■幼児:無料

申込方法 10月31日(月)までに参加料を添えてビッグアリーナ窓口へ

申込・問合せ先 市体育協会 ☎34-3333

## 応急手当普及啓発活動実施要綱の一部を改正しました

市民が応急手当の内容を理解し、より実施しやすい環境とするため、市が定める応急手当普及啓発活動実施要綱の一部を改正しました。

### 1. 救命入門コース(45分)の新設

短時間でも、正確な胸骨圧迫の手法を取得でき、心肺蘇生法がトレーニングできるコースを新設しました。

### 2. 他地域で取得した応急手当普及員および応急手当指導員の資格を認定

従来、地域に限定した活動を行ってききましたが、他地域でも国の基準に基づく講習により認定を受けた方であれば、高山市消防本部管内でも認定されたものとして活動できるようになりました。

問合せ先 救急課 ☎32-0119

## 家庭ごみの豆知識

### その⑤

## ごみの出し方 ～プラスチック製容器包装～

- 対象は プラマークがついた容器や包装です。
- 基準を満たしている透明袋(推奨袋など)を使ってください(45リットル以下、厚みは0.03mm以上)
- ごみシールは不要です。

これらのことを確認いただき、プラスチック製容器包装の収集日の当日午前8時30分までにお住いの地区の資源ごみステーションに出してください(前日夜に出したり、可燃ごみ専用ステーションには出さないでください)。

なお、発砲スチロールや食品トレイは プラマークがあっても出さないでください(その他の資源ごみとして、資源ごみ拠点集積所や資源リサイクルセンターなどに持ち込んでください)。

食べ残しは取り除き、汚れている場合は洗って乾かしましょう。どうしても汚れが取れない場合は、ビニールなどの柔らかいものは可燃ごみへ、それ以外は不燃ごみで出してください。

### ご存じでしたか?プラスチック製容器包装の資源化

みなさんが出したプラスチック製容器包装は、工場でプラントやごみ袋などの一部材料として新たなプラスチック製品に生まれ変わります。

市で分別収集された資源が何に再利用されているかは、日本容器包装リサイクル協会のホームページ「わたしのまちのリサイクル」でご覧いただけます。

問合せ先 資源リサイクルセンター ☎35-1244